7. これまでの取り組みと現状の問題点、今後の課題の整理

岡垣町における公共交通に関するこれまでの取り組みと前述の問題点等を受け、公共交通の今後の取り組み課題と、課題解決に向けた基本方針を以下の通り整理する。

岡垣町のこれまでの取り組み

公共交通網

- 第 3 次公共交通体系整備計画に基づき、コミバス利用の低迷する区間等に乗合タクシーを導入し、路線バス、コミバス、乗合タクシー等による公共交通網を構築
- 西鉄バスの乗務員不足に対応し、波津線のコミバス運行を開始
- 利便性と効率性の両立を図るため、平成 30 年 10 月にコミバス路線網を再編

料金施策

- 消費税改定等を受け、コミバス運賃を 170 円に値上げ
- 乗合タクシーは運行当初 400 円としていたが、利便性改善のため 300 円に値下げ
- QR コード決済への対応を開始

利用環境

- 西鉄バスの運行する波津線の減便代替としてコミバスの低床車を波津線に転用
- 14 人乗りの車両を 1 台導入し、計 5 台で運行
- 利用者の少ない区間において柔軟な運行を行うため、タクシー車両を活用した乗合タクシーを導入

利用促進

- ルートやダイヤ再編に合わせて路線図及び時刻表を更新し、町内の全世帯に配布
- バスの日における無料運行や、ギャラリーバスの実施等、様々な PR 施策を展開
- 住民説明会の開催と体験試乗会の実施

行政・住民・交通事業者の連携

- コミュニティバスの利用状況モニタリングのためバス停別の乗降数を全便で記録
- 事業者サポーター制度として広告収入施策を導入
- トリガー制度の導入を計画・検討したが、具体的な導入には至っていない
- 住民モニター制度による改善を実施したが、利用者はやや減少傾向

公共交通を取り巻く現状・問題点

まちづくりの方向性・動向

- JR、路線バス、コミバス、乗合タクシーによる公共交通網の維持
- 宅地開発等の進行

地域的な問題点

- 公共交通ニーズの縮小
- 移動弱者の増加
- 居住実態の変化
- 自家用車への依存

公共交通の問題点

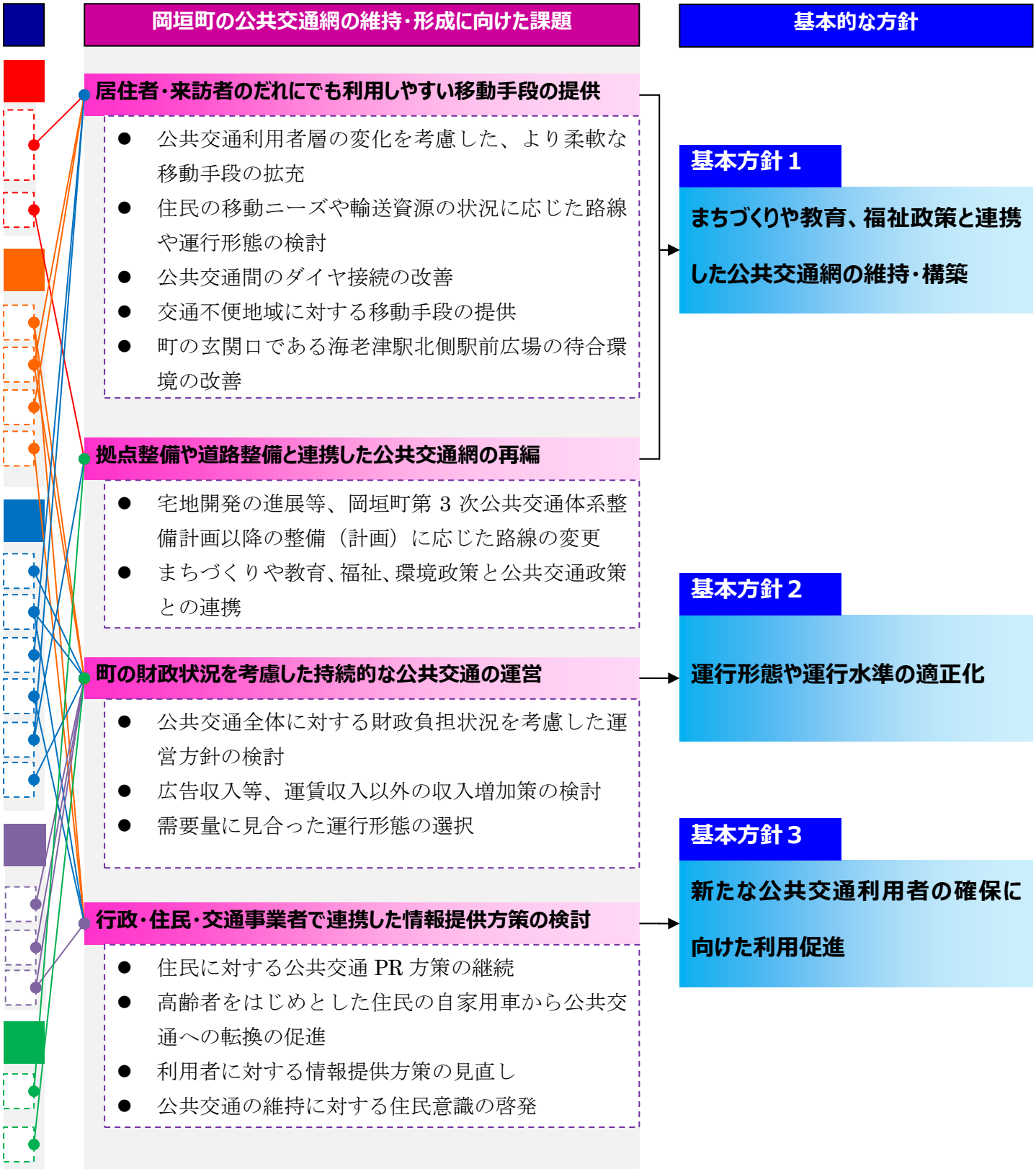
- 路線バス利用者数の減少
- 利用の低迷する地区の存在
- 交通不便地域の存在
- 日常利用が定着しない公共交通
- 公共交通ニーズの世代間差異
- 自治体負担額の増加

社会的な問題点

- 深刻な運転手不足
- 公共交通分野全般の収益性悪化
- 感染症拡大に伴う外出行動の変化

社会的な要請

- 集約型都市構造への転換
- 輸送資源の総動員


岡垣町の公共交通網の維持・形成に向けた課題
基本的な方針
居住者・来訪者のだれにでも利用しやすい移動手段の提供
● 公共交通利用者層の変化を考慮した、より柔軟な移動手段の拡充
● 住民の移動ニーズや輸送資源の状況に応じた路線や運行形態の検討
● 公共交通間のダイヤ接続の改善
● 交通不便地域に対する移動手段の提供
● 町の玄関口である海老津駅北側駅前広場の待合環境の改善
拠点整備や道路整備と連携した公共交通網の再編
● 宅地開発の進展等、岡垣町第 3 次公共交通体系整備計画以降の整備（計画）に応じた路線の変更
● まちづくりや教育、福祉、環境政策と公共交通政策との連携
町の財政状況を考慮した持続的な公共交通の運営
● 公共交通全体に対する財政負担状況を考慮した運営方針の検討
● 広告収入等、運賃収入以外の収入増加策の検討
● 需要量に見合った運行形態の選択
行政・住民・交通事業者で連携した情報提供方策の検討
● 住民に対する公共交通 PR 方策の継続
● 高齢者をはじめとした住民の自家用車から公共交通への転換の促進
● 利用者に対する情報提供方策の見直し
● 公共交通の維持に対する住民意識の啓発
基本方針 1
まちづくりや教育、福祉政策と連携した公共交通網の維持・構築
基本方針 2
運行形態や運行水準の適正化
基本方針 3
新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進